

日本福祉大学 健康社会研究センター 開設記念 国際シンポジウム

# 健康の社会的決定要因— 社会疫学の可能性



2010年3月14日（日）  
10：30 - 16：00

名古屋国際会議場  
（会議室224）

Well-being (幸福・健康)は生物学的要因や生活習慣だけで決定されるわけではありません。社会的ネットワークの豊かさや所得、格差や不況など「健康の社会的決定要因」も重要であると、世界保健機関(WHO)も報告しています。日本でも社会階層間の「健康格差」が大きいことがわかるにつれて「健康の社会的決定要因」を解明する社会疫学が、注目を集めています。日本福祉大学は、社会疫学の研究拠点を構想し、文部科学省の助成を得て健康社会研究センター(Center for Well-being and Society, CWS)を開設しました。当センターの開設を記念して社会疫学の国際的第一人者の2人の研究者をお招きし、社会疫学の可能性を探ります。

## Dr. Ichiro Kawachi

ハーバード大学 公衆衛生大学院教授  
社会、人間開発と健康学科長

ソーシャルキャピタルに関連する研究の第一人者であり、『Social Epidemiology』や『The Health of Nations』『Neighborhood and Health』などの共編者・共著者として知られる。

## Dr. S V Subramanian

ハーバード大学 公衆衛生大学院准教授

これまで175本を超える原著論文・本の章を執筆。地理的要因が健康に与える影響に関する研究、等で知られる。



主催：日本福祉大学 健康社会研究センター

cws.umin.jp

Center for Well-being and Society

文部科学省の私立大学戦略的研究基盤形成支援事業(2009-2013)に採択された研究構想「Well-being(幸福・健康)な社会づくりに向けた社会疫学研究とその応用」を目指す拠点です。2009年8月に、ハーバード大学公衆衛生大学院 社会、人間開発と健康学科と研究協力協定を結びました。

CWS・3つの研究領域と問題意識

- A. Well-being(幸福・健康)の社会的決定要因の研究
- B. Well-being(幸福・健康)を実現する社会の研究
- C. 「Well-being(幸福・健康)な社会」づくりへの応用

## 開催趣旨

Well-being（幸福・健康）は生物学的要因や生活習慣だけで決定されるわけではありません。社会的ネットワークの豊かさや所得、格差や不況など「健康の社会的決定要因」も重要であると、世界保健機関（WHO）も報告しています。日本でも社会階層間の「健康格差」が大きいことがわかるにつれて「健康の社会的決定要因」を解明する社会疫学が、注目を集めています。日本福祉大学は、社会疫学の研究拠点を構想し、文部科学省の助成を得て健康社会研究センター（Center for Well-being and Society, CWS）を開設しました。当センターの開設を記念して社会疫学の国際的第一人者の2人の研究者をお招きし、社会疫学の可能性を探ります。

## プログラム

10:40- **記念講演**（日本語での抄訳つき）

- 健康の社会的決定要因—社会疫学の可能性  
Ichiro Kawachi（ハーバード大学公衆衛生大学院 教授）

13:10- **シンポジウム**

健康の社会的決定要因—社会疫学の可能性

- 健康社会研究センター開設に至る経過と研究構想  
近藤克則（日本福祉大学 健康社会研究センター長）
- AGES プロジェクトの研究成果と研究課題
  - 健康格差  
尾島俊之（浜松医科大学健康社会医学講座 教授）
  - ソーシャル・キャピタル  
相田潤（東北大学大学院歯学研究科国際歯科保健学分野 助教）
  - 武豊プロジェクト  
竹田徳則（星城大学リハビリテーション学部 教授）
  - 2010年調査の研究課題  
平井寛（日本福祉大学 健康社会研究センター 主任研究員）

14:45- **指定発言**（日本語での抄訳つき）

- 日本におけるソーシャル・キャピタル研究への期待  
S V Subramanian（ハーバード大学公衆衛生大学院 准教授）

15:10- **質疑討論**

16:00 **閉会**

終了後、懇親会（会費制）を予定しています。

**2010年3月14日（日）**

**10:10 開場 10:30 — 16:00**

**名古屋国際会議場（会議室 224）**

〒456-0036 名古屋市熱田区熱田西町1番1号

交通のご案内：地下鉄名城線「西高蔵駅」、または、  
地下鉄名港線「日比野駅」より徒歩約5分



**主催：日本福祉大学 健康社会研究センター**

cws.umin.jp